科目名	ストラテジ・マネジメント							年度	2025	
英語科目名	Strategy • Management							学期	前期	
学科・学年	ITスペシャリスト科	1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	安本	•	教員の実務経験		無	実務経験の職種			·	

【科目の目的】

情報処理技術者として必要な企業経営、プロジェクトマネジメントの考え方などを理解する。また、情報処理業界の人材を育成するための指標として実施されている情報処理技術者試験(国家試験)の各種試験区分における 基礎的知識を習得することによって、試験の合格も目指すものとする。

【科目の概要】

- ・プロジェクトマネジメント:業務やプロジェクトを成功させる為のプロジェクトマネジメントに関する手法な どを学習する。
- ・ITサービスマネジメント:情報処理技術者として開発した情報システムを適正に運用・管理していくための ルール設定や、体制の確立などに関して学習する。 ・ストラテジ:企業経営戦略を国家試験を解くアプローチで理解を深める。

【到達目標】

本講義の到達目標は、1年次の7月、12月、1月に行われる基本情報技術者試験の午前免除試験(修了試験)、なら びに国家試験であるITパスポート試験の合格とする。また、最終到達目標である基本情報技術者試験の合格に必要な応用力の習得を念頭に置き、午後問題を読み解き適切な解答を考える力を身につけるための基礎力の定着を 図る。

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。た だし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準=ルーブリック								
ルーブリック 評価			レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力			
到達目標 A	プロジェクトマネ ジメントを理解 し、FEの同テーマ の問題を解答でき る。	プロジェクトマネ ジメントを理解 し、J検の同テーマ の問題を解答でき る。	プロジェクトマネ ジメントの基本概 念を理解してい る。	プロジェクトマネ ジメントの基本概 念を教科書を見な がら理解できる。	プロジェクトマネ ジメントの基本概 念を理解していな い。			
到達目標 B	サービスマネジメ ントを理解し、FE の同テーマの問題 を解答できる。	サービスマネジメ ントを理解し、J検 の同テーマの問題 を解答できる。	サービスマネジメ ントの基本概念を 理解している。	サービスマネジメ ントの基本概念を 教科書を見ながら 理解できる。	サービスマネジメ ントの基本概念を 理解していない。			
到達目標 C	システム戦略を理 解し、FEの同テー マの問題を解答で きる。	システム戦略を理解し、J検の同テーマの問題を解答できる。	システム戦略の基本概念を理解している。	システム戦略の基 本概念を教科書を 見ながら理解でき る。	システム戦略の基 本概念を理解して いない。			
到達目標 D	経営戦略マネジメントを理解し、FE の同テーマの問題 を解答できる。	経営戦略マネジメ ントを理解し、J検 の同テーマの問題 を解答できる。	経営戦略マネジメ ントの基本概念を 理解している。	経営戦略マネジメ ントの基本概念を 教科書を見ながら 理解できる。	経営戦略マネジメ ントの基本概念を 理解していない。			
到達目標 E	デジタルトランス フォーメーション を理解し、FEの同 テーマの問題を解 答できる。	デジタルトランス フォーメーション を理解し、J検の同 テーマの問題を解 答できる。	デジタルトランス フォーメーション の基本概念を理解 している。	デジタルトランス フォーメーション の基本概念を教科 書を見ながら理解 できる。	デジタルトランス フォーメーション の基本概念を理解 していない。			

【教科書】

IT戦略とマネジメント (インフォテックサーブ)

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

○課題点 60点配分:毎回、授業で課される課題の取り組みを評価。4点~0点×15回=60点配分 未提出は0点。提出内容によ り4~0点の評価をします。※但し、提出課題が全15回の授業のうち、11回未満は不合格。 ○中間課題、期末課題 40点配分 :授業進捗や理解度により、中間課題・期末課題の実施方法を決定する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

	科目名		ストラテジ・マ	マネジメント	年度	20	025
英語表記			学期		ij		
回数	授業テーマ	各授業の目的	Strategy・Management 授業内容 到達目標=修得するスキル			評価方法	語
1	プロジェクトマ ネジメント マネジメントと は	マネジメントを理 解する	1 マネジメントとは 2 プロジェクトとは 3 メントとは	マネジメントを説明できる プロジェクトを説明できる プロジェクトマネジメントを説明できる			Iμ
2	プロジェクトマ ネジメント 5つのプロセス 群/3大制約	プロジェクトマネジ メントの5つのプロセ ス群、プロジェクト における3大制約を理 解する	3 メントとは 1 PMBOK・JIS Q 21500 2 プロジェクトマネジ メントの5つのプロセ プロジェクトにおけ 3 る3大制約を理解する	PMBOK・JIS Q 21500を説明できる プロジェクトマネジメントの5つのプロセス群できる プロジェクトにおける3大制約を説明でき		1	
3	体制/ 立ら上げ /計画 スコープの定義 WBS アカティビ	プロジェクトの体 制、プロジェクト立 ち上げ/計画、ス コーブの定義、WBS、 アクティビティを理 解する	1 プロジェクトの体制を説明できる 2 立ち上げ/計画プロセスを説明できる 3 WBSとは WBSを説明できる			1	
4	プロジェクトマ ネジメント スケジュール/ アローダイアグ ラム	スケジュール、ア ローダイアグラム を理解する	1 スケジュール 2 アローダイアグラ ム	スケジュールを説明できる アローダイアグラムの考え方を理解する		1	
5	ネジメント	資源マネジメン ト、工数、コスト マネジメント、EVM を理解する	1 資源マネジメント 2 工数 3 EVM	資源マネジメントを説明できる 工数を説明できる EVMの考え方を理解する		1	
6	プロジェクトマ ネジメント リスク/リスク マネジメント	リスク、リスクマ ネジメントを理解 する	1 リスク 2 リスクマネジメン ト	リスクを説明できる リスクマネジメントを説明できる		1	
7	プロンエクトマーネジメント 品質/コミュニケーション/プロジェクトの終 結	品質マネジメント、 コミュニケーション マネジメント、プロ ジェクトの終結を理 解する	1 品質マネジメント 2 コミュニケーション マネジメント フロンェクトの終 3 結	品質マネジメントを説明できる コミュニケーションマネジメントを説明 プロジェクトの終結を説明できる	できる	1	
8	ITサービスマネ ジメント サービス/IT サービスマネジ メント	サービス、ITサー ビスマネジメント を理解する	1 サービス サービスを説明できる 2 ITサービスマネジ メント ITサービスマネジメントを説明できる			1	
9	ITサービスマネ ジメント ITIL	ITILを理解する	1 ITILの理解	ITILを説明できる		1	
10	ストラテジ システム戦略	国家試験問題演習を 通じて、システム戦 略分野(情報システム 戦略/業務プロセス) を理解する	1 情報システム戦略 2 業務プロセス	情報システム戦略の正答率を高める 業務プロセスの正答率を高める			
11	ストラテジ システム戦略/ 経営戦略マネジ メント	国家試験問題演習を 通じで、システムション・ を いどジネノーション ム活用促進・ネット、 経営戦略と は と は で が が が が が が が が が が が が が が が が が が	1 ソリューションビジ ネス 2 ビジネス戦略と目 標・評価 3 経営管理システム	ソリューションビジネスの正答率を高める ビジネス戦略と目標・評価の正答率を高める 経営管理システムの正答率を高める			
12	ストラテジ 経営戦略マネジ メント/技術戦 略マネジメント	国家試験問題演習を 通じて、経営戦略マ ネジメント(経営戦略 手法/マーケティン グ)、技術戦略マネジ メント(技術開発戦略 の立案)を理解する	1 経営戦略手法 2 マーケティング 3 技術開発戦略の立案	経営戦略手法の正答率を高める マーケティングの正答率を高める 技術開発戦略の立案の正答率を高める		1	
13	ストラテジ デジタルトラン スフォーメー ション	デジタルトランス フォーメーション を理解する	1 アンタイセーショ 2 アンタライセーショ 2 レ 3 DX	デジタイゼーションを説明できる デジタライゼーションを説明できる DXを説明できる			
14	ストラテジ マーケティング	マーケティングとは	1 マーケティンクと は 2 マーケティンク志同 2 の遷移 3 ニーズとウォンツ	「グボークティングを前のときる」 マーケティング志向の遷移を理解できる		1	
15	振り返り・まと め	第01~14回までの 振り返り・まとめ を行う	1 振り返り・まとめ	これまで習った内容についての理解度を	 則る	1	

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった